

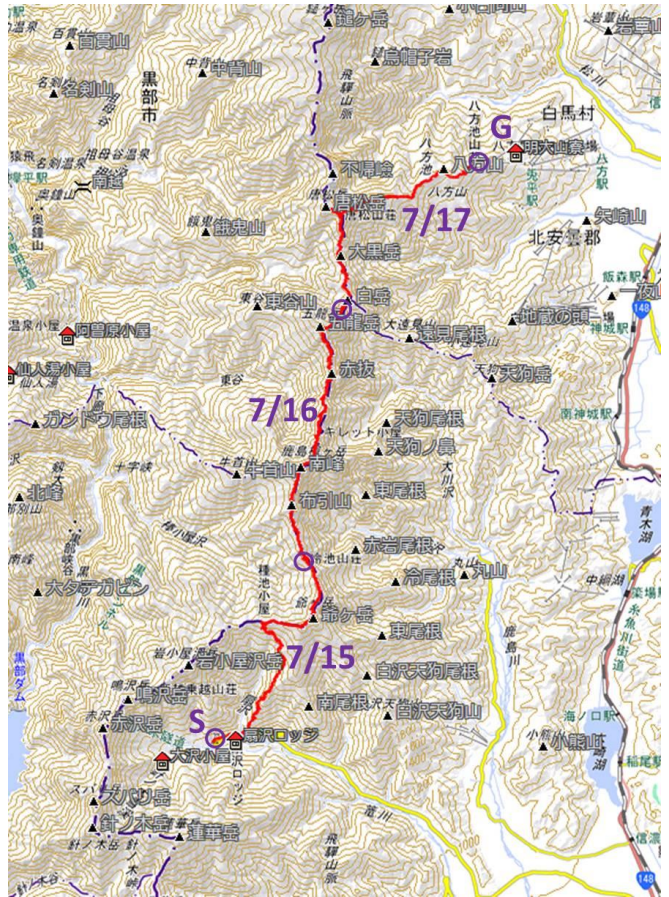
北ア：鹿島槍ヶ岳・五竜岳

- ◆日程 2023年7月15日(土)～17日(月)
- ◆メンバー L：OT、SD、KO、TY、WY、OB、DT、NO

日本三大キレットの一つである八峰キレットに挑戦した。個人的にはルート上の爺ヶ岳(2023年3月)、五竜岳(2022年2月)、そして唐松岳以北(2019年8月)を会の仲間と歩いてきた。それらを繋いでみたいという願いが叶った。核心であるキレット越えでは梅雨明け直前の風雨に見舞われ、体調不良者が出るハプニングはあったが、事故なく全員で通過することができた。最終日はパーティーを分割することとなったが、ご褒美の好天に恵まれ、充実した岩稜縦走を締めくくることが出来た。(記：OT)

7月15日(土) 天候：雨時々曇り

梅雨の明けきらぬ週末に後立山連峰縦走へ8名で行ってきた。新宿発毎日あるペン号は扇沢駅4:30分頃到着。扇沢駅で装備の振り分け、軽く食事を済ませ、小雨の中スタート。柏原新道は手入れが行き届き歩きやすく雨もさほど気にならない程度の樹林帯を歩く、2時間弱地味な登りが続き、左に針ノ木雪渓、扇沢駅を下に、その右側に種池山荘が見え、爺ヶ岳はガスの中。柏原新道最終のダケカンバを抜けると種池山荘へ着き、しばし休憩をとる。鹿島槍、後立山など見える予定でしたが、



展望はなく残念。種池山荘を後に、ここから少し雨風が強くなっていく、予報通りだ。せめてテントを張る時だけは止んでほしいと願う。小屋から沢山の花を足元に稜線歩き、爺ヶ岳南峰頂上を過ぎると風は次第に強くなっていく。一瞬やってくる突風は歩みを止める程であった。北峰を過ぎハイマツ帯に入るとお約束の雷鳥さんが道案内をしてくれる。微笑ましい中乗越をぐっと登り終えると冷池山荘の赤い屋根が下に見えた。テント場は広く、良い場所を取り、風の優しい間に立てること



が出来た。北アルプスが初めて、初キレット超えという仲間たちの話を聞きながら持ち寄った物で恒例の宴会は疲れを一気に吹き飛ばす。DTさんの手の込んだパスタがとても美味しかった。明日の予報も左程良くない。長い一日を考え早めの就寝とした。(記: WY)

CT: 扇沢駅 4:50 - 駅見岬 6:43 - 種池山荘 9:00 - 爺ヶ岳 10:40 - 冷池山荘 11:21

7月16日(日) 天候: 霧時々雨

縦走2日目の朝を迎えた。前日の夜行バス移動の疲れのせいか皆良く寝たようだ。2時起きで朝食、テント撤収して4時前に出発した。五竜山荘までの長い一日の始まりだ。霧に包まれる中、レインウエアの上を着て歩いた。道端には沢山の花が咲いていて心を和ませてくれた。稜線の西側は風が強く夏でも寒かった。2時間で鹿島槍ヶ岳に到着、濃霧に包まれ展望は無かったが目標のピークを越えたことで縦走への意欲を高めた。八峰キレットに向かうに連れて岩場が多くなりヘルメットを着用した。濡れた岩場はスリップしそうで神経をつかった。キレット小屋で休憩とり後半戦に備えた。まとまった雨は降らず、涼しい中、行程を進めた。岩場が連続し楽しかった。途中でKOさんの体調がすぐれず荷物を皆で分けた。お湯を沸かして暖かい飲み物で少し元気が出たようだった。

五竜岳山頂も生憎の濃霧で展望なし。雷雨の予報が出ていたのでそそくさと五竜山荘へ向かった。徐々に雨が降り出した。予約制のおかげでテント場は空いていた。雨の中、適地を選んで急いで設営した。KOさんの体調は芳しくなく心配だ。夏とは言え2日間雨に打たれ体が冷えたのだろう。19時過ぎに宴を終わらせ最終日に備えて眠りについた。(記: TY)

CT: 冷池山荘テント場 3:50 -
鹿島槍ヶ岳 5:56 - 八峰
キレット小屋 8:
48/9:12 - 五竜岳
14:28/15:00 - 五竜山荘
16:00



7月17日(月) 天候：晴れ

【A：本隊】風は強いが満天の星空、絶景を期待させる縦走最終日の朝が来た。今日もハードな行程だが、気持ちが逸る。2時起きで朝食も確り摂り、遠見尾根組と別れ4時前に出発。

暫くは五竜岳を背に下り続ける。歩き出して間もなく日の出。雲海や空の色が面白い変化を見せ続け、右手遠くには名立たる山々、後ろに富士山もひょっこり頭を出している。左に振り返ると五竜岳、その奥に劔岳が黙って朝日を浴びていく。私は必死に写真を撮るが、その雄大さはとてもスマホに収まらない。兎に角、ドンとしている。

さて、最低コルを過ぎたら後は険しい登り。岩場、鎖場が続き、面白いが結構厳しい。ハアハア息が上がる。メンバーの皆さんが応援してくれて、頑張れた。

そうこうするうちに、見えてきました唐松岳。手前の山荘に荷物をデポし気持ちはスキップで頂上へ。360度の大自然パノラマである。思わず泣いてしまった。

ずっと頂上に留まっていたかったが、白馬岳や雪渓を楽しみながら八方尾根を下る。途中、鹿島槍ヶ岳がガスの合間から少しだけ顔を覗かせた。「全部は見せない、また来いよ」と言われているようだった。

(記：NO)

CT：五竜山荘 3:50 - 唐松岳 7:10 - 八方尾根 - 八方池山荘リフト乗場 10:40

【B：遠見尾根下山隊】縦走最終日。KOさんの体調不良を考慮して相談の結果、KOさん、WYさん、私の3名は唐松岳には行かず遠見尾根から下山し、残りの本隊は予定通り唐松岳を登ってから八方尾根を下ることとする。共同装備は本隊に渡し、代わりにKOさんの個人装備の幾つかを私が持って行動する。最終日にしてやっと晴天となり西遠見山では鹿島槍や五竜岳が朝焼けに照らされオレンジ色に染まり息を呑むような美しさだった。2日間悪天でほとんど展望ない中の行動であったためより一層朝焼けに感動した。自分たちが歩いてきた行程がクッキリと見渡せるのは縦走の醍醐味であろう。

遠見尾根は長大な尾根だがとても展望が良く、特に厳冬期に西遠見山にテ泊して鹿島槍を望む絶景ツアーを企画したら楽しいだろう。五竜岳に登らずとも冬の北アルプスを満喫できること間違いなしである。アルプス平には高山植物園があり多種多様な花々が咲いていた。ヒマラヤの青いケシの花など珍しい花もあり長い縦走のゴールをお祝いしてくれたようだ。ちょうど白馬デマンドタクシーが実証実験中で無料で乗車でき、温泉と蕎麦屋と白馬駅にタクシー移動出来てとても便利だった。色々とお楽しみもあったが楽しく思い出に残る山行になった。

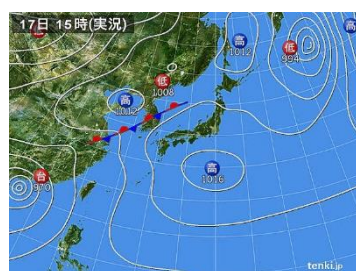
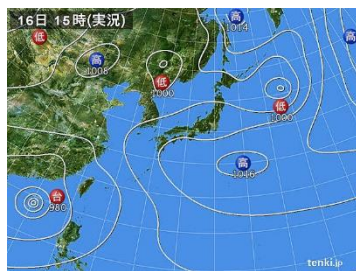
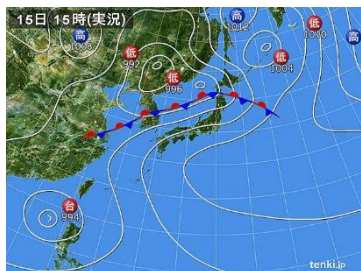
(記：SD)

CT：五竜山荘 3:50 - 西遠見山 4:40 - 大遠見山 5:30 - 小遠見山 7:10 - アルプス平 8:40



■気象について

7/15 (土) 小雨 のち 曇り 7/16 (日) 霧 時々 小雨 7/17 (月・祝) 快晴 のち 曇り



日本海にある梅雨前線と低気圧の影響で、3日間とも西風が強く吹く天気となった。特に1日目2日目は雨も降る時間帯もあり、停滞時には寒さを感じる天候であった。最終日は前日までの天候が嘘のような快晴で、起床時には満点の星空、雲海に昇る朝日を見ることができた。下山時には雲があがってきて、中腹は曇りとなった。 (記：OB)

■食事について

日付	朝食	夕食
7月15日		<u>MENU：トマトパスタ&スープ (DT)</u> 早ゆで3分ペンネ 150g×4袋 ベーコン 300g トマトペースト 6袋 ブイヨンスティック 4袋 ガーリックチップ、鷹の爪、乾燥ほうれん草、オリーブオイル、ブラックペッパー 適宜 フリーズドライスープ 6袋
7月16日	<u>MENU：塩とんこつラーメン (WY)</u> 塩とんこつラーメン 5袋 ラーメンの具 2袋 刻んだ焼豚 適量	<u>MENU：麻婆茄子豆腐丼 (NO)</u> 乾燥茄子 6本分 乾燥豆腐 30g 麻婆の素 3袋 アルファ米 5袋
7月17日	<u>MENU：雑炊 (OB)</u> フリーズドライ味噌汁 10袋分 高野豆腐 1袋 アルファ米 5袋	

夏季の2泊3日縦走ということで、各自軽量化を意識し腐りにくい食材を厳選してメニューを考案した。人数8人に対してアルファ米5袋は適量であった。 (記：DT)

